

あ と が き

『ルーテル学院研究紀要』第53号が、皆様のご協力によりできあがりしました。

これまで、本学では『研究紀要』を、印刷製本した冊子体とインターネットという2通りの媒体を通して発行して参りました。各国で専門雑誌が電子ジャーナルとして提供されるようになってきている動向を踏まえて、本学『研究紀要』も、この第53号から電子媒体での発行に一本化することにいたしました。

合わせて、投稿原稿の提出を紙媒体からメールに変更しました。原稿の受け付けや査読、編集のために紀要編集委員会専用のメールアドレスも設けました。初めてのことでしたが、皆様の暖かい理解とお力添えにより、順調に編集を進めることができました。感謝申し上げます。

紀要第53号には、向谷地生良先生による本学創立110周年・三鷹移転50周年記念講演会の講演録を収めることができました。講演会では、北海道浦河にある「べてるの家」が実践の基盤としているキリスト教の信仰と支援の理念を、本学でも大切にしたいという思いを強くいたしました。その講演を皆様にもお届けできることになり、嬉しく思います。

さらに、教員による論文2本、博士後期課程院生による論文1本、専任教員による国際セミナー報告1本を掲載することが出来ました。それぞれの著者の貴重な研究の成果を伝える労作・力作です。

本学では、研究紀要の他に、各附属研究所から研究の成果を研究所紀要やニュースレターとして公表しています。実習教育の成果はソーシャルワークや臨床心理の実習報告書として公表しています。また、チャペルでの日々の礼拝での学生のメッセージはチャペル・メッセージ集『カーハル』に収められています。そのような幅広い教育・研究活動の報告の1つとしてこの『紀要』をお読み頂ければ幸いです。

キリスト教・社会福祉・臨床心理の対話や協働の場として、また研究と教育の良い循環を作る場として、『紀要』が発展して行けますように、これからも暖かいご理解とお力添えをよろしくお願い申し上げます。(加藤純)

紀要編集委員会

加藤 純 (委員長)

金子 和夫

山口 麻衣

矢野 麻子

上村 敏文

田副 真美

松田 美喜

英文校正

ジェームス・サック